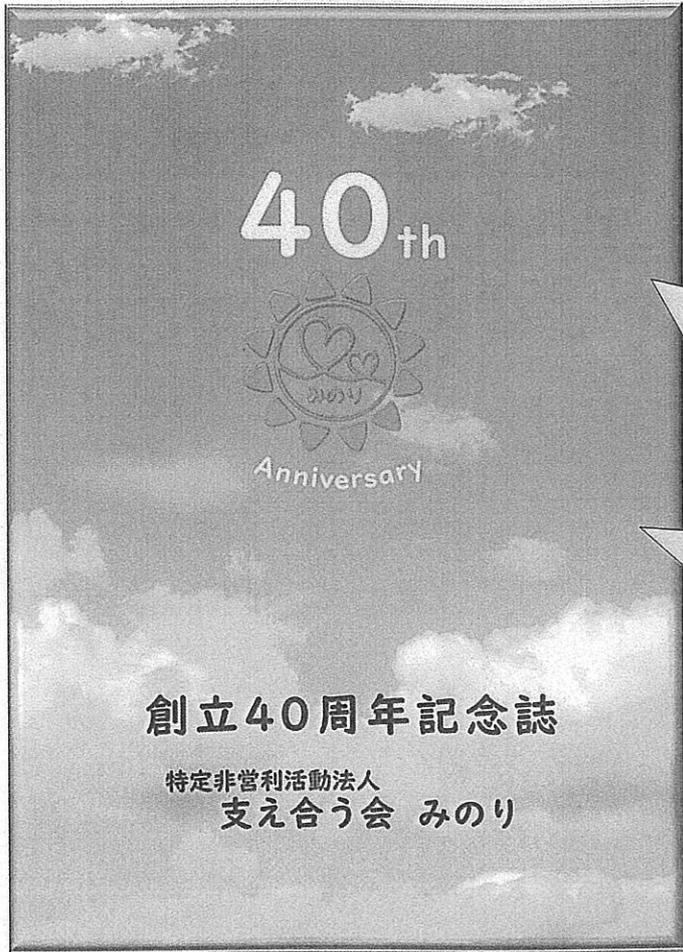


# みのり『創立40周年記念誌』発行に携わって



それぞれの年代の違うメンバーが一堂に会する機会はもう少なくなるという思いから「何か形に残したい」という声が上がりました。

「当時のお話を聞くことがだんだん難しくなる」、過去の記憶を記録として残そうと思い、公益財団法人みずほ教育福祉財団の「ボランティア活動資金助成事業」からの助成を受け、作成することになりました。

記念誌作成中に多くの方から当時のお話を聞くことができ、普段集まることの少ない人たちが毎日のように集まって編集会議をしながら話し合えたこと、歴代の理事長が自分の就任時期の色々な話が聞けたこと等、今回一番良かったと感じています。

※正会員には記念誌を配布いたしました。  
なお、事務局に予備がありますのでご希望の方はお問い合わせください。

## みのり「創立40周年記念誌」を読んで

賛助会員 小松田 茂さま (声楽家・大丸在住)

初代代表の小林節子さんの高邁な理想と勇気とによって支え合う会みのりの礎が作られ、早や40年という時が流れたのですね。

石田惇子理事長、中村久美子理事長、藤森良子理事長、中村陽子理事長そして吉川ひとみ理事長と響がつながれ、稲城には無くてはならない「支え合う」ことを目的とした大切な会として、広く深く根を張っております。何とも有り難い会です。

私が第二文化センターで「童謡・室礼の会」の講座を指導開講している隣の講座室からは、美味しそうな香りが漂ってきて、「今日のお献立は何だろうね?」と講座の途中で私が皆に話すことが度々でした。すると「私たち、この講座が終わったら戴くんですよ…」と会員の中から幾人もの声が聞こえ、「あら、良いわね」「そうよ楽しみ」等々、何ともあたたかな雰囲気。この地域にしっかりと根を下ろした会であることを感じています。

こうしてお年を重ねた方々が楽しみにしている場、それが支え合う会みのりなのでしょうね。ボランティア活動は、確かな覚悟と根気と愛によって成し得る事。関わって居られる多くの方々に心よりの感謝を申し上げたいです。

私も、もう少し年を重ねたらお世話になろうかな。その節はよろしく願いいたします。記念誌一気に拝読いたしました。発行委員の皆様にも心より感謝をしながら。有難うございました。

地域の方々や多くのボランティアに支えられながらこれまでも、これからもみのりの活動を継続させていきたいと思っております。今後共ご支援賜りますようお願い申し上げます。